

2020年3月16日

各 位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛
(コード番号: 3814 東証JASDAQ)
問合わせ先 取締役管理部長 菊本 健司
電話番号 0836-39-5151
URL <http://www.afs.co.jp/>

(訂正)「平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成29年2月10日に開示いたしました「平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)

平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月10日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム 上場取引所 東
コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 菊本 健司 TEL 0836-39-5151
四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	561	△3.1	33	△40.0	△4	-	△14	-
28年9月期第1四半期	579	1.4	56	770.1	55	-	36	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	△6.87	-
28年9月期第1四半期	16.77	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	1,835	553	30.2	253.77
28年9月期	1,723	568	33.0	260.60

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 553百万円 28年9月期 568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年9月期	-				
29年9月期(予想)		0.00	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,040	△1.0	88	6.0	75	25.0	60	14.0	27.49
通期	2,300	2.0	260	35.6	235	43.9	177	39.1	81.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	2,513,800株	28年9月期	2,513,800株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	331,583株	28年9月期	331,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	2,182,217株	28年9月期1Q	2,182,217株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善傾向と、雇用、所得環境の改善を背景に、国内景気は緩やかながらも回復基調が続いている一方、海外の政情不安による為替相場、株式の変動など、先行き不透明な状況で推移しております。

一方、当社の主要販売先である外食企業におきましても、全体的な売上高は堅調な推移を見せているものの、業態によって業況にばらつきがあるほか、中食業界の拡大、競争の激化などにより、当社の事業領域においては、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は大手外食チェーンを中心に従来からのASPサービスを核とした、トータルソリューションシステムの提供と、当社がもっとも力を入れるパッケージ型の基幹業務システム「飲食店経営管理システム(R)」に関して、規模を問わず、あらゆる業態店舗、または中食、仕出し弁当業及び給食事業に対する販売活動に注力しました。

その結果、売上高は561,607千円(前年同四半期比3.1%減)となりました。利益面に関しましては、営業利益33,729千円(同40.0%減)、経常損失4,435千円(前年同四半期は経常利益55,469千円)、四半期純損失14,981千円(前年同四半期は四半期純利益36,597千円)となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規獲得及び既存顧客へのサービスの拡大と、「飲食店経営管理システム(R)」の販売に注力した結果、売上高は276,290千円(前年同四半期比0.5%減)となりました。

また、月額サービス料は、3ヶ月累計で263,989千円(同0.1%増)と堅調に推移しております。

② システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーシステムの新規顧客獲得、既存顧客へのバージョンアップなどにより、売上高は241,955千円(前年同四半期比8.4%減)となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社製品の販売等を行った結果、売上高は43,361千円(前年同四半期比14.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、1,835,017千円となり、前事業年度末に比べ111,441千円増加いたしました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金76,311千円の増加があった一方で、売掛金144,199千円の減少がありました。固定資産においては、建設仮勘定118,783千円の増加などにより155,935千円増加いたしました。また、流動負債では短期借入金133,000千円、買掛金71,927千円の減少などにより、279,963千円減少いたしました。純資産につきましては、四半期純損失の計上などにより553,776千円となり、14,901千円減少いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動及び財務活動により得られた資金や、投資活動によって使用した資金により、前事業年度末に比べ74,811千円増加し、当第1四半期会計期間末には304,560千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、67,352千円(前年同四半期は得られた資金62,263千円)となりました。これは、仕入債務の減少66,127千円、法人税等の支払い33,095千円の一方で、売上債権の減少143,866千円などによる資金の増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、206,198千円(前年同四半期は使用した資金45,944千円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出164,280千円、無形固定資産の取得による支出40,418千円などによる資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において財務活動の結果得られた資金は、213,656千円(前年同四半期は使用した資金8,400千円)となりました。これは、短期借入金の返済による支出133,000千円(純額)の一方で、長期借入れによる収入387,000千円(純額)による資金の増加であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は引き続き、従来からのASPサービスを核としたトータルソリューションシステムの提供と、パッケージ型の基幹業務システム「飲食店経営管理システム(R)」の販売活動に注力してまいります。平成29年9月期の業績予想につきましては、平成28年11月14日付の「平成28年9月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	276,249	352,560
売掛金	263,850	119,651
商品	389,703	396,989
貯蔵品	25,185	29,884
前渡金	13,487	13,109
前払費用	20,871	<u>24,719</u>
繰延税金資産	35,272	<u>29,483</u>
未収入金	6,480	15,634
その他	12,831	13,155
貸倒引当金	<u>△8,161</u>	<u>△3,873</u>
流動資産合計	<u>1,035,769</u>	<u>991,314</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,282	6,010
工具、器具及び備品(純額)	33,252	51,937
土地	20,429	34,972
リース資産(純額)	15,428	14,555
建設仮勘定	153,876	272,659
有形固定資産合計	<u>229,269</u>	<u>380,135</u>
無形固定資産		
ソフトウェア	91,677	<u>85,504</u>
ソフトウェア仮勘定	146,387	160,496
電話加入権	2,445	2,445
無形固定資産合計	<u>240,509</u>	<u>248,446</u>
投資その他の資産		
出資金	132	132
長期前払費用	142,377	<u>142,099</u>
敷金及び保証金	19,326	19,326
繰延税金資産	24,618	23,581
長期未収入金	63,565	61,837
その他	10,450	10,626
貸倒引当金	<u>△42,676</u>	<u>△42,676</u>
投資その他の資産合計	<u>217,793</u>	<u>214,927</u>
固定資産合計	<u>687,572</u>	<u>843,508</u>
繰延資産		
社債発行費	232	194
繰延資産合計	<u>232</u>	<u>194</u>
資産合計	<u>1,723,575</u>	<u>1,835,017</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	169,907	97,980
短期借入金	583,000	450,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	79,200	60,000
リース債務	3,772	3,772
未払金	24,575	32,384
未払費用	10,536	13,337
未払法人税等	37,006	5,723
預り金	9,197	14,889
前受金	50,253	45,950
賞与引当金	18,909	4,700
その他	22,342	—
流動負債合計	1,022,702	742,739
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	79,800	486,000
リース債務	13,204	12,261
退職給付引当金	32,190	33,240
固定負債合計	132,194	538,501
負債合計	1,154,897	1,281,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	135,506	120,524
自己株式	△248,286	△248,286
株主資本合計	568,682	553,700
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3	75
評価・換算差額等合計	△3	75
純資産合計	568,678	553,776
負債純資産合計	1,723,575	1,835,017

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	579,435	561,607
売上原価	377,427	<u>374,614</u>
売上総利益	202,008	<u>186,992</u>
販売費及び一般管理費	145,831	153,263
営業利益	56,176	<u>33,729</u>
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	—	4,287
雑収入	1,952	881
営業外収益合計	1,952	<u>5,169</u>
営業外費用		
支払利息	2,352	2,221
支払保証料	215	123
支払補償費	—	3,383
支払手数料	—	<u>37,566</u>
その他	91	<u>38</u>
営業外費用合計	2,659	<u>43,334</u>
経常利益又は経常損失 (△)	55,469	<u>△4,435</u>
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	55,469	<u>△4,435</u>
法人税、住民税及び事業税	13,266	3,755
法人税等調整額	5,605	<u>6,790</u>
法人税等合計	18,871	<u>10,546</u>
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	36,597	<u>△14,981</u>

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	55,469	<u>△4,435</u>
減価償却費	19,280	<u>27,704</u>
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,498	△4,287
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,317	△14,209
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,853	1,050
支払利息	2,567	2,345
支払手数料	—	<u>37,566</u>
売上債権の増減額 (△は増加)	57,923	143,866
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16,848	△11,984
仕入債務の増減額 (△は減少)	△51,264	△66,127
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△14,641	△14,427
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	29,498	4,760
その他	△150	<u>379</u>
小計	70,872	102,199
利息の支払額	△2,202	△1,751
法人税等の支払額	△6,406	△33,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,263	67,352
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,375	△164,280
無形固定資産の取得による支出	△42,069	△40,418
定期預金の預入による支出	△1,500	△1,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,944	△206,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	870,000
短期借入金の返済による支出	△450,000	△1,003,000
長期借入れによる収入	—	546,000
長期借入金の返済による支出	△8,400	△159,000
リース債務の返済による支出	—	△943
その他	—	△39,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,400	213,656
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,919	74,811
現金及び現金同等物の期首残高	299,534	229,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	307,453	304,560

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。